

## 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

国立大学法人山形大学

法人番号：13

学部・研究科等番号・名称：05・医学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> 学部・研究科等 医学部 分析項目Ⅱ 教育成果の状況 〔判断理由〕、〔優れた点〕</p> <p><b>【原文】</b> 〔判断理由〕 「平成28年度に「<u>大学教育再生加速プログラム テーマV 卒業時における質保証の取組の強化</u>」に採択され、<u>学習成果の到達度を測定するための基盤力テストを実施し、学習成果の可視化を行っている。</u>」</p> <p>〔優れた点〕 「平成28年度に文部科学省「<u>大学教育再生加速プログラム テーマV 卒業時における質保証の取組の強化</u>」の採択を受け、<u>本学における基盤教育の到達度を直接測定するための「基盤力テスト」を開発、実施している。そのうえで、本学の学部生全員を対象に入学時、1年終了時、3年次に実施し、その結果をディプロマ・サプリメント（学修成果の可視化資料）として提示している。</u>」</p> <p><b>【申立内容・理由】</b> 本事例は、医学部に留まらず全学共通の取組として展開し、学習成果の可視化に係る優れた取り組みとして大学機関別認証評価、国立大学法人評価等において取り上げられております。これらのことから、現況調査票に上記の内容を記載している以下の学部については、同様の評価を実施いただくことをご検討願えますでしょうか。</p>	<p><b>【対応】</b> 判定は、原案のとおりとする。ただし、申立ての内容を踏まえて、当該事項に関する記載について、医学部は〔優れた点〕を、工学部は〔特色ある点〕を維持する。また、人文社会科学部、理学部及び農学部については〔特色ある点〕に当該事項を以下のように追記する。</p> <p>〔特色ある点〕 「平成 28 年度に文部科学省「大学教育再生加速プログラム テーマV 卒業時における質保証の取組の強化」の採択を受け、山形大学における基盤教育の到達度を直接測定するための「基盤力テスト」を開発、実施している。当該テストは6つの領域（文系用の「数的文章理解」「語彙力」、理系用の「数学」「物理」「化学」「生物」）で構成され、実施に当たっては、限られた時間で効果的かつ効率的に実施できるよう現代テスト理論（項目反応理論）を取り入れるためのスマートフォンアプリである「YU Portal」を独自開発している。」</p> <p><b>【理由】</b> 学系別の状況に応じて、現況調査表や書面での回答等を総合的に判断したものである。</p>

学部名	現況調査票 記載ページ
人文社会科学部	1-16
医学部※	5-13
理学部	7-11
工学部※	8-17
農学部	11-11

※医学部は〔判断理由〕・〔優れた点〕、工学部は〔特色ある点〕として抽出いただいております。